

# 平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		部課コード		120700	2998-9375			
事業コード	河川・水路維持管理事業			河川課				
120705	開始年度 昭和 25 年度			終了年度 平成 年度				
担当部課		グループ 工務・管理担当						
事業の概要	事業の種類別	自治事務		法定受託事務		法定受託 + 附加		
	分野別計画・指針	所沢市環境基本計画						
	関連・類似事業	所沢市公共物管理条例						
	総合計画の体系	章 環境・自然	節 健全な水資源の保全(河川・水路)	基本方針	河川・水路機能の充実			
事業開始の背景	河川・水路の機能充実と生活環境保全のため、改修・整備および清掃・除草・修繕を実施する。							
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)							
	河川・水路を適正に維持管理を行うことにより、氾濫による浸水被害の防止と良好な水辺環境の維持を図る。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	95	km		
	市内の河川及び水路			平成 27 年度	95	km		
事業の具体的な内容及び実施方法								
1. 河川・水路の氾濫による浸水被害等の防止を図るため、改修・整備を行う。 2. パトロールや住民等の要望により、清掃・除草および修繕等を行う。 3. 地域に根づく川づくりを目指し、維持管理の一部を委託する。 4. 「水辺のサポ-タ-制度」事業の推進。								
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)		
	予算現額			56,971	59,188	44,778		
	決算(見込み含む)			54,416	57,040			
	(非常勤特別職員)	( 0.00 人)	( 0.00 人)	( 人)	( 人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。		
	(臨時任用職員)							
	正規職員人件費	6.15 人	53,634	6.55 人	56,723			
事業費合計		108,050		113,763				
財源内訳	一般財源	108,050	113,763	44,778				
	国・県支出金	0	0	0				
	その他( )	0	0	0				
実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	維持管理(清掃)	実施延長	m	6,240	5,648	6,000	
		要望・通報件数	処理件数	件	182	228	250	
		改修・整備工事	改修・整備延長	m	145	277	380	
成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	要望・通報処理率	要望・通報件数 ÷ 処理件数	件	目標値	182	228	
				実績	182	228	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」拡大図 <input type="checkbox"/> 「実績」縮小図	
	目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	100	100	どちらかをチェックしてください
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
	以前は、カウンターで閲覧しかできなかった河川資料(ハザードマップ)を一般配布できるようにした。							
評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	理由	河川・水路の適正な管理をする。		
		<input type="checkbox"/> 終了		<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他		河川・水路の適正な管理を継続する。		
	評価	次年度予算		<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	河川・水路の適正な管理を継続する。		
		(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性			
評価	東川の桜の木の維持管理について関係機関等と調整を図る。			河川・水路の改修整備により、氾濫等が軽減する方向にあり、引き続き河川・水路の改修整備を進める。				
評価日	H28.8.10	評価者職氏名	河川課長 松山 幹明					
環境影響	有益な環境影響	3-2水環境の保全・回復	5-2安心な都市空間の整備	有害な環境影響を及ぼす原因活動	河川・水路の改修・整備及び清掃・除草・修繕を実施	規制を受ける環境法令等	無	
						緊急事態	有	